



～異年齢の子ども達がつながる新たな環境づくりをめざして～ 第14号

開園時期に関する統合対象園の保護者懇談会を行いました！

認定こども園の園舎完成は、現在のところ、令和9年8月から9月末を見込んでいることから、開園時期について保護者の皆さんの考えをお聞きする懇談会を下記のとおり開催しました。

懇談会当日は、様々な視点で多くのご意見をいただきありがとうございました。いただいたご意見を参考に、園児をはじめ保護者や職員などが、混乱しないよう円滑な新園への移行に向け、9月頃までには市において開園時期の決定をめざしたいと考えております。



日時	場所	参加者数
①6月5日（木）14：20～ ②6月5日（木）19：00～	川岸保育園 リズム室	①22名 ②7名
③6月12日（木）19：00～ ④6月24日（火）13：30～	成田保育園 リズム室	③7名 ④14名

保護者からの主な意見を紹介いたします。

- ・当初、令和9年4月に開園とのことで新園舎を楽しみにしていた。途中からでも新園舎に入れたら嬉しい。
- ・新しい環境でも強く頑張ってもらいたい、最終決定は市の判断に委ねる。
- ・年度途中の引越など職員の負担になるのであれば、保護者も手伝うことができる。
- ・特に子どもは環境変化に敏感のため年度初めの開園が望ましい。年度途中は、親も職員も負担が大きい。
- ・工事が更に遅れることも考えられるので、令和10年4月の開園がよいと思う。
- ・新園舎完成後は、両園交流などを活用しながら徐々に慣れてスムーズに入学したい。
- ・今の園舎で最後の卒園児として、また今の友達と全員一緒に卒園をさせてあげたい。
- ・年度途中だとその年の保護者会組織の調整（準備・検討・引継ぎ等）が、いつもの年度と異なるので役員の負担が大きい。
- ・年度途中又は年度初めに開園した場合、どちらもメリットとデメリットがあるので、市が総合的に判断をして開園時期を決めてもらえればよい。

認定こども園の開園時期に関する意見等をお寄せください。

懇談会に出席できなかった方や、地域の方々からも、ご意見等をいただきたいと思います。裏面に、保護者懇談会で使用した開園時期に関する資料を掲載いたしました。裏面の資料や上記の保護者からの主な意見などを参考に、ご意見のある方は、右記のQRコードからご回答ください。



回答期間：令和7年6月25日（水）～7月4日（金）

川岸学園幼保連携型認定こども園の開園時期について

1. スケジュールの見通し

工事内容		R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)	R10(2028)		
学 校		仮設校舎	・引越し【仮設校舎で学校運営】	開校			
			学校整備工事				
		校舎解体					
こども園				園舎建設工事	完成	・発表会 ・卒園式 ・入園式	
園児の状況	年長	卒園 ⇒ 新1年生				H31.4.2～R2.4.1生	
	年中		卒園 ⇒ 新1年生			R2.4.2～R3.4.1生	
	年少			卒園 ⇒ 新1年生		R3.4.2～R4.4.1生	
	未満児	2歳				卒園	R4.4.2～R5.4.1生
		1歳					R5.4.2～R6.4.1生
		0歳					R6.4.2～R7.4.1生

※現在、見込まれる工事期間により、認定こども園の開園時期は、新園舎の建物が完成する令和9年8月から 9月以降の「年度途中から」、または、卒園や新入園の切り替え時期に合わせた「令和10年4月から」 が想定されます。

2. 開園時期の選択肢

選択肢	令和9年度途中から	令和10年4月から
期待される効果	・その年の卒園児(年長児)も新園舎を利用できる。 ・発表会や年長児の卒園式を新園舎でできる。 ・年長児は入学に向け学校が身近になる。	・その年のクラス集団のまま1年間過ごせる。 ・年度で切替えるため、新体制が組みやすい。 ・新園舎を使って園児の事前交流ができる。 ・工期の延長等、不測の事態にも対応可能。
見込まれる課題	・年度途中で在園児の環境が大きく変わる。 ・年度途中の引っ越しは職員の負担が多い。 ・工期の延長等、不測の事態に対応できない。	・当初見込んだ開園時期が1年先となる。 ・年長児の新園舎での生活には応えられない。

3. 市の考え方

市としては、「年度途中での開園」の場合は、子どもたちや保護者の環境変化や引っ越し等の負担もあり、十分な交流や準備が必要と考えています。また、「令和10年4月からの開園」の場合は、その年卒園される年長の皆さんは新しい園舎での生活はできませんが、開園への準備期間として、2園や学校との交流活動を新園舎で行うなどの対応が可能であり、年長の皆さんにも新しい園舎を利用していただくことができると考えています。

